

教 科 用 図 書 採 択 参 考 資 料 綴 り

教 科 名 書 写

調査研究報告書

(小委員会名：国語（書写）)

1. 調査研究の経過及び内容	<p>○6月19日（金） 第1回教科用図書調査委員会 （1） 第1回国語小委員会（7名参加） ・研究の手順、次回以降の日程、連絡体制等について確認</p> <p>○7月13日（月） 第2回国語小委員会（7名参加） （1） 調査・研究した内容の交流及び確認 （2） 意見交換 ① 各者とも教材数が豊富であり、色や写真などを使って視覚的にも見やすく、興味・関心を喚起する内容となっている。 ② 各者とも生徒が自主的・主体的に学ぶために、学習における見通しがもてるよう工夫されているとともに、目標や振り返りをしっかり意識できるようになっている。 ③ 各者とも資料の掲載が豊富で、我が国の言語文化に触れられるよう工夫されている。また、様々な場面での「書く」活動を通して、実生活で活用できるようになっている。 ④ 別冊があるかないかの違いはあるものの、3学年で1冊になっていることから、前の学年を振り返ったり、次の学年を見通したりすることができるようになっている。</p> <p>○7月14日（火）～17日（金） （1） 委員間で調査・研究内容などについて、意見交換を随時実施</p>
2. 調査研究の具体的資料	<p>1 教科書編修趣意書 2 採択参考資料 3 学習指導要領解説 4 その他（)</p>
3. 少数意見等	<p>（1） 書写と国語の教科書については、相互の関連性があり、同一発行者の方が指導しやすいと考える。</p>

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1・2・3学年	書写・701	新しい書写一・二・三年
取 扱 内 容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 字形の整え方を確かめて書いたり、情報を整理した書き方を考えたり、さらには、案内の文書や依頼文・報告文を書いたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書く。</p> <p>第2学年～ 書体や筆記具を考えてはがきの裏面や本のポップを書いたり、どのような観点で楷書と行書を使い分けるか考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く。</p> <p>第3学年～ 手書き文字の特徴を生かして効果的に書いたり、身の回りで見られる文字の特徴や工夫を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 行書を書くときの動きに気を付けて書いたり、点画の連続や変化に注意して書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。</p> <p>第2学年～ 点画の省略や筆順の変化に注意して書いたり、行書と仮名の調和に気を付けて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 書体を工夫して応援旗やはがきを書いたり、書体や線の太さなど、多様な文字の表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 穂先の向きを意識した点画の書き方、行書を書くための筆の動きなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第2学年～ 速く滑らかな動きのための点画の省略、行書と仮名の調和のための筆圧の変化と筆脈など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「思いを文字で表そう」において、卒業に向けた作品を毛筆もしくは硬筆で書く活動を通して、伝えたいことを効果的に書き表し、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、ねらいを焦点化した「書写のかぎ」を参考にして、点画の書き方や字形の整え方について考えたり、自分が書いた文字を使って学習したことを説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				

	<p>第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、点画の省略について考えたり、自分が書いた文字を使って学習したことを説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、身の回りの文字の目的と工夫について考えたり、学習したことについて、分かったことなどを話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>排内 列容 ・の 分構 量成 等・</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 楷書について点画の書き方と字形の整え方を確かめる活動の後に、仮名の書き方や字形の特徴を理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 行書について筆圧の変化や筆脈を確かめる活動の後に、行書に調和する仮名の特徴を理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 身の回りの文字の目的と工夫を確かめる活動の後に、手書き文字の特徴を生かして、効果的に書く工夫を考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>○ 「本のポップ」や「パンフレット」など、国語科や他教科と関連を図った教材を掲載したり、「北海道庁」の石碑の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 自らの理解度を客観的に評価することができる「書写テスト」や、巻末に教科の学習や日常生活の中でよく使う書式をまとめた「書写活用ブック」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「書写活用ブック」の中に、楷書と行書を併記した五十音順の常用漢字表に加え、人名用漢字表も掲載している。</p> <p>○ 巻頭に小学校での学習を振り返るページを設け、高等学校の芸術科書道に触れた「文字のいずみ」を設けるなど、異校種との接続を意識した構成となっている。</p> <p>○ 「生活に広げよう」において、「職場訪問をしよう」（第1学年）や「防災訓練に参加しよう」（第2学年）など、キャリア教育を含めて実生活に生かせる活動を取り入れている。</p> <p>○ 学習の進め方についてマークや写真で示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	15・三省堂	第1・2・3学年	書写・702	現代の書写 一・二・三
取 扱 内 容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 点画や部分の組立てに注意して書いたり、数字やアルファベットを含めた文字の大きさと配列を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書く。</p> <p>第2学年～ 書体を選択して礼状を書いたり、読み手や目的、状況に応じた楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く。</p> <p>第3学年～ 構成を考えて用具・用材を決めて書いたり、効果的に文字を書くことの必要性について考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 点画の丸みや連続に注意して書いたり、点画の形や方向の変化に気を付けて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。</p> <p>第2学年～ 点画の省略や筆順の変化に注意して書いたり、筆脈を意識して流れるように書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 好きな言葉を「名言集」として色紙や本のしおりに書いたり、手書き文字や活字のそれぞれの特徴や表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 字形の整え方と楷書の点画の筆使い、横画や折れの丸みなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第2学年～ 穂先を使った書き方による点画の省略、流れるように書くための筆脈など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「名言集を作ろう」において、中学校生活の中で出会ったお気に入りの言葉を硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 字形の整え方と楷書の点画の筆使い、横画や折れの丸みなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第2学年～ 穂先を使った書き方による点画の省略、流れるように書くための筆脈など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「名言集を作ろう」において、中学校生活の中で出会ったお気に入りの言葉を硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「目標を確かめよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書き方を学ぼう」を参考にして、字形の整え方と筆使いについて考えたり、学習したことが他の文字ではどこに使われているか説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動。</p> <p>第2学年～ 「目標を確かめよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書き方を学ぼう」を参考にして、点画の省略について考えたり、目的や必要に応じて書体を選択して書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動。</p> <p>第3学年～ 「目標を確かめよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りの生活の中から印象に残った文字の工夫や効果を考えたり、手書き文字や活字の例を参考にして、文字の魅力を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動。</p>
<p>排 内 列 容 ・ の 分 構 量 成 等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 楷書について字形の整え方と筆使いを確かめる活動の後に、仮名の字形と筆使いを確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 行書について筆脈や仮名の形の違いを確かめる活動の後に、行書に調和する仮名の特徴を意識して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 手書き文字や活字による伝え方の変遷を確かめる活動の後に、効果的に文字を書くことの必要性について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>○ 「グループ新聞」や「情報誌」など、国語科や他教科と関連を図った教材を掲載したり、北海道にゆかりのある石川啄木の短歌を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習したことを実際に活用できているかを確認できる「自分の言葉でまとめよう」や、巻末に「資料編」として、日常生活や社会生活で使われる書式をまとめた「日常の書式」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末の「資料編」には、五十音順の常用漢字表に加え、ひらがなやカタカナにおける楷書と行書を併記して掲載している。</p> <p>○ 「資料編」では、1月から12月までの時候の挨拶例が掲載されていたり、荷物の送り状の記入見本が示されたりするなど、日常生活との関連性を強く意識した構成となっている。</p> <p>○ 行書における手本が特に優れており、教師が指導しやすいよう配慮されている。</p> <p>○ 単元の基本構成と学習の流れについて説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1・2・3学年	書写・703	中学書写
取 扱 内 容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ ノートの取り方と硬筆とを関連付けたページに加え、字形の整え方や筆順のきまりに注意して書く、漢字と仮名の大きさを考えるとといった活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列について理解して、楷書で書く。</p> <p>第2学年～ 用紙や書体を工夫して案内状を書いたり、様々な書く場面に応じた楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く。</p> <p>第3学年～ レイアウトや筆記用具を工夫して書いたり、身の回りで見かける文字の表現効果について考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 行書の筆使いに注意して書いたり、点画の連続と変化に気を付けて書いたりする活動を通して、楷書との違いに触れながら漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。</p> <p>第2学年～ 点画の省略や筆順の変化に注意して書いたり、漢字と仮名の大きさ、配列に気を付けて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 配列に気を付けて俳句やメッセージカードを書いたり、石碑の文字の書体による表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 穂先の向きや筆圧を意識した点画の書き方、行書の筆使いなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第2学年～ 速く書くための筆脈を意識した筆の動き、行書に調和する平仮名の筆使いなど、毛筆で学んだことを生かし、国語科教科書の教材文を用いて硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「三年間の学習の成果を生かそう」において、未来の自分に向けた手紙を硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、筆脈や配列について考えたり、「筆脈」や「配列」など、書写の学習用語を用いて学習した内容について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、点画の省略について考えたり、「点画の省略」や「筆順の変化」など、書写の学習用語を用いて学習した内容について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、点画の形や方向の変化について考えたり、「点画の形」や「点画の方向の変化」など、書写の学習用語を用いて学習した内容について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			
の 目 標 、 内 容 等	<p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年</p>			

<p>排内 列容 ・の 分構 量成 等・</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 楷書について筆脈や配列を確かめる活動の後に、漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く活動を取り上げ、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 行書について点画の連続と配列を確かめる活動の後に、行書に調和する仮名の筆使いを確かめて書く活動を取り上げ、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 身の回りの多様な表現による文字を見つける活動の後に、見つけた文字の効果についてレポートにまとめる活動を取り上げ、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>○ 「お薦めの本の帯」や「ポップ」など、国語科や他教科と関連を図った教材を掲載したり、北海道の「五稜郭跡」の石碑や釧路湿原駅の看板の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 習得した知識を自ら書いて確かめる「書き込み欄」や、巻末に実社会で活用できる基本的な書式をまとめた「書式の教室」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末の「書式の教室」において、楷書及び行書が併記された常用漢字表を、「小学校で学習した漢字」と「中学校で学習した漢字」に分けて掲載している。</p> <p>○ 「書式の教室」を含め、全ての学年において、北海道とかわりのある内容を取り上げている。</p> <p>○ 「コラム」欄において、第1学年から第3学年にかけて言語文化としての書写についての説明や写真が掲載されている。</p> <p>○ 学習の進め方の手立てについて説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

教科用図書採択参考資料

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
取 扱 内 容 学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	38・光村	第1・2・3学年	書写・704	中学書写 一・二・三年
<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 別冊の「書写ブック」を使って、外形と中心や筆順に注意して書いたり、点画や部分の組み立て方を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書く。</p> <p>第2学年～ 楷書又は行書を選択して入学願書を書いたり、場面に応じて楷書と行書のどちらで書くことが適しているかを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く。</p> <p>第3学年～ 書体や筆記具、用紙を決めて書いたり、文字の使い分けやその効果について考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 行書の特徴を踏まえて筆使いに注意して書いたり、点画の変化に気を付けて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。</p> <p>第2学年～ 点画の省略や筆順の変化に注意して書いたり、筆脈を意識して、次の画や文字につなげるように書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ これまでに学習したことを生かして自分の好きな言葉を書いたり、身の回りにある文字の書体による表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 筆圧や点画のつながりを意識した筆使い、滑らかに動かすための筆の運びなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第2学年～ 次の画への筆脈を意識した穂先の動き、行書と仮名の調和を意識した筆脈など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「私の好きな言葉」において、3年間の学習で印象に残った言葉や書きたい言葉を硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の窓」を参考にして、漢字の筆使いについて考えたり、漢字を構成する点画の種類とその筆使いについて話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の窓」を参考にして、点画の省略について考えたり、楷書と行書を比べて、点画が省略される理由を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>				

	<p>第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の窓」を参考にして、効果的に伝えるための文字の使い分けについて考えたり、字体の違うそれぞれの文字から受ける印象とその理由を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>排内 列容 ・の 分構 量成 等・</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 楷書について調和する仮名の筆使いや字形を確かめる活動の後に、漢字と仮名の大きさや配列を意識して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 行書について筆順の変化や筆脈を確かめる活動の後に、行書と仮名を調和させるために筆脈を意識して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 活字の書体など、身の回りにある様々な文字を調べる活動の後に、文字の使い分けやその効果について、気付いたことを書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>○ 「枕草子」や「おくのほそ道」など、国語科と関連を図った教材を掲載したり、北海道の「BOYS BE AMBITIOUS」の石碑の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習したことを確かめることができる「書写テストに挑戦しよう」や、巻末に日常生活に生かす書式を整理して示した「日常に役立つ書式」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末の「中学生のための漢字字典」において楷書と行書を併記した常用漢字表に加え、画数順の「人名用漢字表」を掲載している。</p> <p>○ 毛筆で学習したことを生かして硬筆の学習を深めるため、別冊「書写ブック」が位置付けられている。</p> <p>○ 目次の構成が単なる学年順ではなく、「読みやすく書くための楷書」→「読みやすく速く書くための行書」→「文字を使い分ける」といった構成になっている。</p> <p>○ 教科書の構成と学習の進め方について写真で示したページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>そ の 他</p>	